

会場(鳥の劇場・しかの心・鹿野往来交流館「童里夢」・議場劇場・旧小鷺河小学校)へのアクセス

鳥取県



鳥取自動車道が
全線開通しました
よりはやく鳥取に
来られるようになります

岡山
JR 約2時間
(岡山駅-鳥取駅)
車 約2時間30分
(国道53号-鳥取自動車道)

大阪
JR 約2時間30分
(新大阪駅-鳥取駅)
車 約2時間30分
(名神高速道路-中国自動車道-鳥取自動車道)

京都
JR 約3時間
(京都駅-鳥取駅)
車 約3時間
(名神高速道路-中国自動車道-鳥取自動車道)

東京
飛行機 約1時間10分
(羽田空港-鳥取空港)
JR 約5時間
(東京駅-鳥取駅)

東京・大阪・神戸・京都・岡山・広島・福岡の各都市と鳥取の間で高速バスが運行しています。

■JRを使って

最寄り駅はJR浜村駅です。
※公演日は浜村駅と各会場の間を、車で送迎いたします(無料、要予約)。

□浜村駅まで

- 鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
- 倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
- 米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分

□浜村駅から

- 車で15分

■車を使って

公演日は会場近くに案内看板を設置します。

- 鳥取自動車道、鳥取ICから約30分
- 鳥取空港から約20分
- 鳥取市中心部から約30分
- 倉吉市中心部から約45分
- 米子市中心部から約1時間30分

※駐車場について

鳥の劇場・議場劇場・旧小鷺河小学校は会場近くに駐車場があります。しかの心・鹿野往来交流館「童里夢」は鳥の劇場の駐車場をご利用ください。

鳥の劇場

議場劇場(鳥取市鹿野町総合支所)

旧小鷺河小学校

しかの心

鹿野往来交流館「童里夢」

鳥の劇場から車で約5分です。

ボランティア募集!!

「鳥の演劇祭」のお手伝いをしてくださる方を求めています。報酬はありません。演劇祭開催までの広報活動、劇場準備から、当日の会場運営にいたるまで、仕事の内容は様々です。経験は問いません。文化・芸術、まじまじと国際交流などに興味のある方、演劇祭と一緒に楽しんでくださる方、お気軽にお申し込み下さい。

・活動期間: 9月2日(月)～29日(日)
ご都合の良い時間帯で結構です。短い時間でもOK。長期参加可能な方大歓迎!!

・応募資格: 高校生以上。経験は問いません。

・仕事内容: ①会場準備・受付 ②劇場内のカフェ手伝い

・応募方法: 以下の問合せ窓口に、【氏名、年齢、性別、電話、メールアドレス】をお知らせください。募集は随時行っています。

「鳥の演劇祭」ボランティア問合せ窓口(担当:中本)
電話:0857-84-3612 電子メール:volunteer@birdtheatre.org

【主催】鳥の劇場運営委員会

【共催】鳥取県 鳥取市 鳥取大学地域学部 特定非営利活動法人鳥の劇場

【協力】NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 株式会社ふるさと鹿野 株式会社サラル鹿野

第20回BeSeTo演劇祭実行委員会

【協賛】日本放送テレビ放送株式会社 アサヒビール株式会社

【助成】公益財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団 公益財団法人企業メセナ協議会認定

【後援】鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 駐大阪大韓民国総領事館韓国文化院 オーストラリア大使館

ブリティッシュ・カウンシル フィンランド大使館 フランス大使館/アンステイチュ・フランス日本 イスラエル大使館

新日本海新聞社 朝日新聞鳥取支局 山陰中央新報社 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 産経新聞鳥取支局

日本経済新聞鳥取支局 中国新聞鳥取支局 BSS山陰放送 山陰中央テレビ 時事通信社鳥取支局

第11回とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)参加事業

鹿野魅力創造プロジェクト参加事業

【プログラム・ディレクター】 中島謙人(演出家/鳥の劇場芸術監督)

鳥の劇場運営委員会

会長 長尾裕昭(株式会社ふるさと鹿野代表取締役社長)

副会長 木谷清人(公益財団法人鳥取市文化財団理事長)

委員 五島朋子(鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授)

山根大樹(caf SOURCE KOREA代表理事/Trees Co.,Ltd代表)

中村彩(株式会社nido代表取締役社長)

神庭伸子(鳥取県文化観光局文化政策課長)

西村朋之(鳥取市企画推進部次長兼文化芸術推進課長)

中島謙人(特定非営利活動法人鳥の劇場代表理事)

監事 荒金啓介(山陰合同銀行)

鳥の演劇祭問合せ窓口(鳥の劇場運営委員会)／〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 鳥の劇場内
電話:(0857)84-3612 電子メール:engekisai@birdtheatre.org ウェブサイト:www.birdtheatre.org/engekisai/

鳥の演劇祭6 カレンダー

9/13 [金]										20:00 『セールのマンの死』 BeSeTo →鳥の劇場(劇場)
14 [土]	11:00 鹿野ぶらぶら町歩き →鹿野町・城下町地区	13:00 『アルヴィン・スプートニクの深海探検』 →議場劇場	15:00 『太宰治短編選』 BeSeTo →しかの心	17:00 『セールスマンの死』 BeSeTo →鳥の劇場(ホワイエ)	19:00 トークイベント BeSeTo →鳥の劇場(ホワイエ)					
15 [日]		13:00 『アルヴィン・スプートニクの深海探検』 →議場劇場	14:15 鹿野ぶらぶら町歩き →鹿野町・城下町地区	15:00 とりとダンス →鹿野町・城下町地区	17:00 『太宰治短編選』 BeSeTo →しかの心	19:00 オープニングパーティー →鳥の劇場(ホワイエ)				
16 [月・祝]	10:30 映面上映『ひかりのおと』 →鳥の劇場(劇場)	13:00 『アルヴィン・スプートニクの深海探検』 →議場劇場	14:00 お楽しみ上演 →鹿野町・城下町地区	15:00 お楽しみ上演 →しかの心						
	10:00～15:00 仮面のワークショップ →鳥の劇場(ホワイエ)									
	10:00～16:00 写真企画「小鳥の家族」 →鳥の劇場(ホワイエ)ほか									
17[火]										
18[水]										
19[木]										
20 [金]										20:00 『息吹き～Breathing～』 →しかの心
21 [土]			14:00 鹿野タイムスリップツアー →鹿野町・城下町地区	15:30 鳥取豊学校生による上演 →鳥の劇場(ホワイエ)	17:00 『ツァイトゲーバー』 →鹿野町・城下町地区	19:00 『息吹き～Breathing～』 →しかの心	20:00 トークイベント →鳥の劇場(ホワイエ)			
22 [日]		11:00 鳥取の高校生による上演 →議場劇場	13:00 トークイベント →鳥の劇場(ホワイエ)	14:15 鹿野ぶらぶら町歩き →鹿野町・城下町地区	15:00 『Finding Butterfly』 →鳥の劇場(劇場)	17:00 『ツァイトゲーバー』 →鹿野町・城下町地区	19:00 『息吹き～Breathing～』 →しかの心	20:30 フェスティバルパーティー →鳥の劇場(ホワイエ)		
23 [月・祝]			12:00 『天使パピロンに來たる』 →旧小鷺河小学校	14:30 寛峯神社でつくって語る →鹿野町・小鷺河地区	15:00 鳥取の高校生による上演 →議場劇場	17:00 『Finding Butterfly』 →鳥の劇場(劇場)	18:30 トークイベント →鳥の劇場(ホワイエ)			
24[火]										
25[水]										
26[木]										
27[金]										
28 [土]			12:00 『天使パピロンに來たる』 →旧小鷺河小学校	14:30 寛峯神社でつくって語る →鹿野町・小鷺河地区	15:00 『しあわせな日々』 →しかの心	17:00 『奏でる』 →鹿野町・城下町地区	19:30 『エルサレムと鉛のこま』 →鳥の劇場(劇場)			
29 [日]		11:00 『奏でる』 →鹿野町・城下町地区	13:30 鹿野タイムスリップツアー →鹿野町・城下町地区	15:00 『しあわせな日々』 →しかの心	17:30 『エルサレムと鉛のこま』 →鳥の劇場(劇場)	19:00 クローージングパーティー →鳥の劇場(ホワイエ)				

"BIRD" THEATRE FESTIVAL TOTTORI 6

鳥の演劇祭

第20回BeSeTo演劇祭鳥取公演併催

2013年9月13日(金)～29日(日)

鳥の劇場と鹿野町内各所(鳥取県鳥取市鹿野町)

ここだけの体験 ここだけの演劇

大人も子どもものんびり楽しむ とつとりの山里と世界の演劇

「鳥の演劇祭」は、鳥取県東部の城下町・鹿野町で2008年以来毎年開催し、今年で6回目。今回も鹿野町内に会場を5つ設けます。

日本国内の団体による作品や地元で作られた作品に加え、フィンランド、オーストラリア、フランス、イギリスなど海外からも優れた作品を招聘します。

また、「第20回BeSeTo演劇祭」を併催し、中国と韓国からも作品・俳優が参加します。

ここでしか体験できない多彩な上演を、お楽しみください



チケット・予約 (※料金は中面のプログラム紹介をご覧ください。)

各種プログラムの予約・申込受付は8月8日(木)10時より開始します。右記の予約窓口までご連絡ください。

■上演プログラムについて

日時指定あり・全て自由席

予約窓口にて前日までにご予約ください。予約順に入場整理番号をお取りします。料金は公演当日、受付でお支払いください。会場内へは入場整理番号の順にご案内します。

※当日券は開演の1時間前から販売します。各公演会場の受付にてお問い合わせください。

※未就学のお子さまのご入場はお断りすることもございます。託児も行っております。下記をご参照ください。

もっとたくさん見たい!という方のために、すこしお得な割引チケットをご用意しました。

・4演目チケット=9,000円
(通常料金2,500円×4演目=10,000円)
※大人2,500円の上演プログラム対象、各作品1回ずつご覧いただけます

送迎します JR浜村駅～会場間の送迎を行います。
(無料、要予約) 時間等についてはお問合せください。

託児します 各上演プログラムに合わせて、鳥の劇場子どもルームで託児を行います。
(無料、要予約) ※託児士手配の都合上、必ずご予約ください。

演劇祭を楽しんでいただくために

期間限定クーポン<TORI>
<500 TORI>×11枚組を5,000円で販売します。

「鳥の演劇祭6」プログラム、鳥のカフェ、セレクトショップ、「週末だけのまちのみせ」、劇場周辺の飲食店、鳥取市内や倉吉市内のお店などで、<500 TORI>=500円として使えます。かわいくて500円もお得な(TORI)を、この機会にぜひ買い求めください。

※8月8日(木)より販売開始、250組限定。
※鳥の劇場でのみ販売。
※<TORI>は鹿野町内で行われる次のイベントでもお使いいただけます

□鹿野わったいな祭 ー「まつりちゃん」ののぼりのあるお店
開催日:10月26日(土)・27日(日) 会場:鹿野町内各所

□鹿野ふるさとミュージカル『アユタヤにはじけて候(そうろう)』
開催日:11月10日(日) 会場:鹿野町中央公民館

バリアフリーをめざします

障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡をください。

鳥のカフェ

コーヒーの達人まる達さんによる、香り高く深い味わいのコーヒーが鳥のカフェの自慢です。また、鳥取市内の「caf SOURCE」と「caf-nee」の協力を得て、地元食材をたっぷり使った食事メニューもご用意しています。お芝居を観る前にも観た後にもご利用ください。

鳥の演劇祭セレクトショップ

今年も、「鳥の演劇祭」期間中だけ、鳥の劇場にオープンします。劇場スタッフが選んだ、鳥取でしか出会えない「いい物」を集めてご紹介。じっくり時間をかけて、あなたの「いい物」に出会ってください。

ご宿泊について 演劇祭会場周辺の温泉地や宿です。

- 鹿野温泉 □山紫苑 (0857)84-2211 www.sanshien.jp
- お宿夢彦 (0857)84-2411 www.yumehiko.co.jp
- 鳥取駅前・市街地 □鳥取市観光案内所 (0857)22-3318 www.torican.jp
- 三朝温泉 □三朝温泉旅館協同組合/三朝温泉観光協会 (0858)43-0431 spa-misasa.jp
- 浜村温泉 □旅庵庵 (0857)82-0531 www.ryofutan.com
- 東郷池そば □ゲストハウス「たみ」 (0858)41-2026 www.tamitottori.com
- 吉岡温泉 □吉岡温泉旅館組合 (0857)57-0800 www.yoshiokaonsen.com

※ゲストハウス「たみ」では、(TORI)をお使いいただけます。

上演プログラム [Performances]



BIRD Theatre Company TOTTORI
Death of a Salesman by Arthur Miller -
With actors of Japan, China and Korea in three languages

鳥の劇場 [鳥取] → 鳥の劇場 [劇場]

『セールスマンの死』 (日・中・韓俳優出演・3か国語版)

作:A. ミラー 翻訳:倉橋健 演出:中島諒人 舞台美術:米間直樹 タカマヨシノ

第20回BeSeTo演劇祭鳥取公演プログラム

9月13日(金)20:00・14日(土)17:00
※9月13日(金)終演後にアフタートークを行います
料金:大人2,500円/中学生500円

アメリカ現代演劇を代表する劇作家A. ミラーの戯曲です。中国と韓国の俳優を招き、日・中・韓3か国語版として再演。約60年前の戯曲を通して、グローバル化された世界の間を見つめます。

〈第20回BeSeTo演劇祭について〉
BeSeTo演劇祭は、日本、中国、韓国が持ち回りで行う演劇祭です。北京 (Beijing)、ソウル (Seoul)、東京 (Tokyo) の頭文字を取って、BeSeTo という名称が付けられました。
第20回の節目となる今回の開催では、「交流から共存へ」というテーマのもと、東京、富山、鳥取に3か国の演劇人が集まります。鳥取でプログラムが行われるのは、前回の日本開催 (2010年) に続き3回目です。
各開催地のプログラムについては、以下のサイトをご覧ください。
www.beseto.jp/20th/



Perth Theatre Company
The Adventures of Alvin Sputnik: Deep Sea Explorer by Tim Watts

パース・シアター・カンパニー [オーストラリア] → 劇場劇場

『アルヴィン・スプートニクの深海探検』

作・演出:ティム・ワッツ
9月14日(土)13:00・15日(日)13:00・16日(月・祝)13:00
料金:大人2,500円/4歳〜高校生1,000円

アニメーションから指人形、演奏、歌、そして演技まで、一人の俳優がすべてをこなすソロ・パフォーマンス。温暖化後の世界と一人の青年の冒険を描いた、子どもから大人まで楽しめる作品です。

コミュニティで作られた作品 [Performances from community]



Toritto Dance
ANONYM—Toritto Version 2013—

とりっとダンス → 鹿野往来交流館「童里夢」

『ANONYM』 —とりっとバージョン2013—

構成・演出・出演:とりっとダンス 初演ディレクション:岩瀬多喜子
9月15日(日)15:00
※終演後にアフタートークを行います
料金:大人1,500円/中学生500円

とりっとダンスは、鹿野町に住むメンバーを中心とするコミュニティダンスのグループです。これまで、「鳥の演劇祭」で4作品を発表してきました。今回は、過去に上演した作品をさらに磨き上げての再演に取り組みます。



Shikano Time Travel Tour
Chidori's Dream

鹿野タイムスリップツアー → 鹿野町・城下町地区

『チドリの日』

構成・出演:鳥の劇場
9月21日(土)14:00・29日(日)13:30
料金:無料
集合場所:鳥の劇場玄関前 解散場所:鹿野往来交流館「童里夢」
昨年初めて実施して大好評だったこの企画。今年は、新たなエピソードを盛り込んで、鹿野の町を巡ります。俳優たちの演じる姿の向こうに、かつての町並みや人々の暮らしの風景が浮かびます。

「子どものいちにち。」 "A Day for Children"

9月16日(月・祝)は、子どもが楽しめるプログラムを集めた楽しい一日、「子どものいちにち。」です。鹿野の町をぶらりと歩きながら、ワークショップや上演、読み聞かせなどを楽しくてください。

仮面のワークショップ

講師:大小島真木(アーティスト) → 鳥の劇場 [ホワイエ]
9月16日(月・祝)10:00〜15:00
対象:小学生/定員:15名/料金:200円(材料代)
鳥の劇場の向かい、旧鹿野小学校の教室にアトリエを構えるヤマナカヒロさんが企画するワークショップです。仮面をみんなで作った後、その仮面を持って鹿野町内を散策します。
Artist's workshop for children



Yangson Project
Short Stories by Dazai Osamu-The Dog Is the Beast

ヤンソン プロジェクト [韓国] → しかの心

『太宰治短編選一犬は猛獣である』

作:太宰治 演出:バク・デヘ 出演:ソン・サンギュ ヤン・ジョンウク
第20回BeSeTo演劇祭鳥取公演プログラム

9月14日(土)15:00・15日(日)17:00
※9月14日(土)終演後にアフタートークを行います
料金:大人2,500円/中学生500円

ヤンソン プロジェクトは、1人の演出家と3人の俳優から成る韓国の劇団。短編小説の舞台化を積極的に行っており、今回は太宰治の短編3作品『黄金風景』『畜犬談』『駆込び訴え』を韓国語で上演します。



Iida Vanttaja
Breathing

イイダ・ヴァンタジャ [フィンランド] → しかの心

『息吹き 〜Breathing〜』

脚本・舞台美術・人形製作・衣装製作・演出・出演:イイダ・ヴァンタジャ
9月20日(金)20:00・21日(土)19:00・22日(日)19:00
※9月20日(金)終演後にアフタートークを行います
料金:大人2,500円/中学生500円

昨年、一昨年と鳥の演劇祭で好評を博した人形劇『オフエリアと影の一座』と『サーカスの少年』の演出家が、自身の出演作を上演します。「息をすること」をテーマに、女性の一生を描いた一人芝居です。



MURAKAWA Takuya
Zeitgeber

村川拓也 [京都] → 鹿野往来交流館「童里夢」

『ツァイトゲーバー』

演出:村川拓也 出演:工藤修三
9月21日(土)17:00・22日(日)17:00
※9月21日(土)終演後にアフタートークを行います
料金:大人2,500円/中学生500円

介護の現場での日常を、ドキュメンタリー的な手法で描いた作品です。介護される人と介護する人のやり取りを通して、私たちの社会におけるコミュニケーション、そして演劇表現のあり方を再考します。



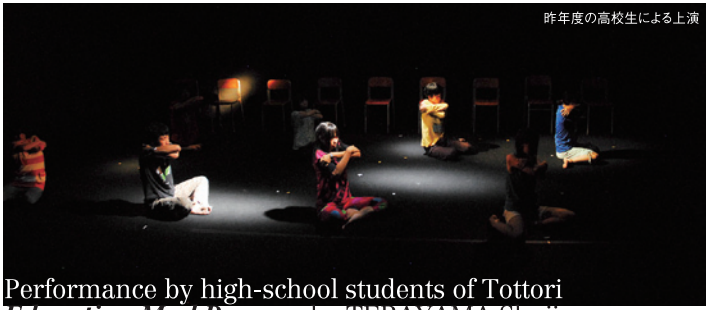
A Journey to Tomorrow
Performance by Tottori School for the Deaf

鳥取聾学校生による上演 → 鳥の劇場 [ホワイエ]

『明日への旅』

出演:鳥取県立鳥取聾学校中学部生徒
9月21日(土)15:30
料金:無料

鳥の劇場では、年間を通じて教育や福祉の現場でのアウリーチ活動に取り組んでいます。そのような活動を通して関わった学校の一つ、鳥取聾学校の生徒の皆さんによる上演です。



Performance by high-school students of Tottori
Educating Mad Persons by TERAYAMA Shuji

鳥取の高校生による上演 → 劇場劇場

『狂人教育』

作:寺山修司 演出:門脇瑞葉 (鳥取県立鳥取西高等学校)
出演:鳥取県立鳥取西高等学校・鳥取県立八頭高等学校演劇部員
9月22日(日)11:00・23日(月・祝)15:00
料金:大人1,000円 高校生以下無料

昨年に引き続き、高校生が「鳥の演劇祭」に向けて舞台を作ります。今回は、主に鳥取県東部で演劇に打ち込む高校生たちが集まり、寺山戯曲に挑戦します。

写真企画「小鳥の家族」

→ 鳥の劇場 [ホワイエ] ほか
9月16日(月・祝)10:00〜16:00
受付場所:鳥の劇場/定員:10組/料金:無料
写真家・水本俊也さんによる家族写真撮影会です。ずっと大切にしたい一枚を撮影できるチャンスです!
A family photo session

お楽しみ上演

→ 鹿野往来交流館「童里夢」 → しかの心
9月16日(月・祝)14:00/15:00
14:00 鹿野往来交流館「童里夢」/15:00 しかの心/料金:無料
子どもも大人も楽しめるお芝居や紙芝居、読み聞かせです。楽しくて愉快なお話もあれば、こわいものも。どんなお話が登場するかは、当日のお楽しみ!
Performances for children



Opera Machine
Finding Butterfly-
From Puccini's opera **Madame Butterfly**

オペラ・マシーン [イギリス] → 鳥の劇場 [劇場]

『Finding Butterfly—私の家を探して』

〜プッチーニのオペラ『蝶々夫人』より〜
演出:ステファン・ティラー 音楽監督:アンドリュウ・チャリティー
9月22日(日)15:00・23日(月・祝)17:00
※9月23日(月・祝)終演後に演出家によるトークを行います
料金:大人2,500円/中学生500円

『蝶々夫人』に独自の解釈で切り込んだこの作品は、1948年、蝶々夫人の息子が長崎を再び訪ねる場面から始まります。多彩な歌手陣には鹿野町出身の塩崎めぐみさんも名を連ね、コーラスは鳥取オペラ協会のメンバーが担当します
主催:鳥取大学地域学部
助成:大和日英基金 グレイトブライアン・ササカフ財団 平成25年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業
協力:鳥取オペラ協会 楽器協力:(有)西川ピアノ調律所
鳥取大学文学部開放推進事業

※9月16日(月・祝)15:00〜18:00、鳥の劇場にて演出家による公開ワークショップを行います。
どなたでもご参加、ご見学いただけます。(無料)



BIRD Theatre Company TOTTORI
An Angel Comes to Babylon by F. Dürrenmatt

鳥の劇場 [鳥取] → 旧小幡河小学校

『天使バビロンに来たる』

原作:F. デュレンマット 構成・演出:中島諒人
9月23日(月・祝)12:00・28日(土)12:00
※両日終演後に、周辺エリアのガイドツアーを行います。
料金:大人2,500円/中学生500円

昨年11月に瀬戸内海の大島で初演された、鳥の劇場の新たな代表作ともいえる作品。20世紀スイスの劇作家デュレンマットの戯曲を通して、ミミカルかつ哲学的な文明批評が展開されます。鹿野の山々の方ふもとで行われる、昼間の野外公演です。

トークイベント・映画上映 [Talks and Film]

虫の眼で見る日本と中国、そして地方からの異文化交流

講師:毛丹青(作家・神戸国際大学教授・雑誌「知日」主筆)

第20回BeSeTo演劇祭鳥取公演プログラム
9月14日(土)19:00〜20:30 → 鳥の劇場 [ホワイエ]
料金:無料

毛さんは、1987年の初来日以来、日本を「虫の眼」で見つめ、日本語と中国語による文章活動を通してその姿を描いてきました。日本と中国の文化・芸術を通じた交流、そして地方からの発信、観光が果たす役割などについて語っていただきます。
A lecture by MAO Danqing on multi-cultural exchange between Japan and China

フィンランドのお芝居を観た後にフィンランドの教育について学ぶレクチャー

講師:串頼悠里(福井大学特命助教) → 鳥の劇場 [ホワイエ]
9月21日(土)20:00〜21:00 料金:無料

ムーミンからデザインや生活文化、そして教育・福祉といった社会政策まで、最近、フィンランドへの関心が高まっているようです。「鳥の演劇祭」でも、3年連続でフィンランドの人形劇やダンスの作品を紹介してきました。このレクチャーでは、フィンランドの教育について、専門家の方からお話をお聞きます。
A lecture by HAYASE Yuri on study of education in Finland

人口減社会の中の鳥取を考える—2040年、鳥取県の人口は44万人になる。その時、私たちの暮らし、仕事、コミュニティはどうなっているのだろう。

講師:岩崎林太郎(鳥取県観光政策課長) → 鳥の劇場 [ホワイエ]

9月22日(日)13:00〜14:00 料金:無料

人口減が続く日本社会において、その影響をより強く受けるのは地方だと言われています。人口最少県である鳥取県は、その典型かもしれません。人の数が減ることを前提に、どのような地域づくりをすすめていくのか。総務省、そして鳥取県庁で、その課題に取り組んできた岩崎さんに、展望を語っていただきます。
A lecture by IWASAKI Rintaro on the population decrease and the future of Tottori

鹿野をのんびり歩いてみよう [Walk Around Shikano]

鹿野ぶらぶら町歩き

→ 鹿野町・城下町地区
9月14日(土)11:00〜12:00
15日(日)14:15〜14:45
22日(日)14:15〜14:45
料金:無料/集合場所:鳥の劇場玄関前
協力:ぶらっとしかのガイドの会
地元のガイドの方に城下町・鹿野を案内していただきます。昔ながらの風情漂う町並みを散策してみませんか。

パーティー [Party]

→ 鳥の劇場 [ホワイエ]
「鳥の演劇祭」に参加する俳優やスタッフと交流できるパーティーを、各週末計3回行います。
どなたでもご参加いただけます。 料金:1,000円(ドリンク・軽食付き)
オープニングパーティー 9月15日(日)19:00〜21:00
フェスティバルパーティー 9月22日(日)20:30〜22:00
クロージングパーティー 9月29日(日)19:00〜21:00



SOUSHINKIKAN
Happy Days by Samuel Beckett

双身機関 [寛知] → しかの心

『しあわせな日々』

作:サミュエル・ベケット 演出:寂光根拠的父 出演:秋葉由麻 ポチ
9月28日(土)15:00・29日(日)15:00
料金:大人2,500円/中学生500円

原作では、主人公の女性ウィニーの体はほとんど土に埋まったまま。彼女の言葉やしぐさは不可解に見えます。双身機関の上演は、この戯曲の不条理の中に人間的な普遍性とリアリズムを見出そうとします。昨年の「利賀演劇人コンクール」にて、優秀演出家賞および観客賞を受賞した作品です。



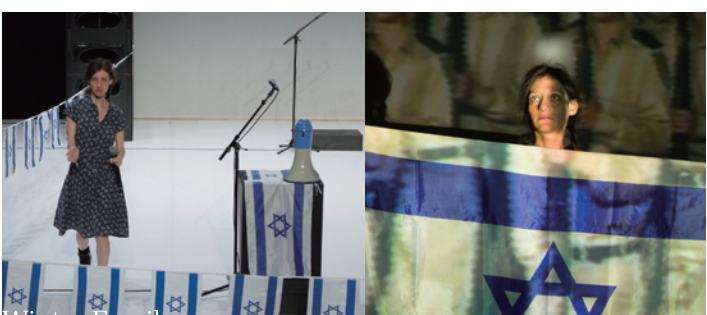
Miyazaki Maarif-Gekijo
Kanaderu by NAGAYAMA Tomoyuki

みやざきまあるい劇場 [宮崎] → 鹿野往来交流館「童里夢」

『奏でる』

作・演出:永山智行 出演:劇団こふく劇場・劇団25馬力・和田祥吾ほか
9月28日(土)17:00・29日(日)11:00
※9月28日(土)終演後にアフタートークを行います
料金:大人2,500円/中学生500円

宮崎県を拠点に活動する劇団こふく劇場は、障がいを抱った人たちとのワークショップを重ね、これまで「隣の町」「青空」という2つの作品を作りました。障がいの有無を超えた表現の可能性を求め、第3弾となる新作に挑みます。



Winter Family
Jerusalem Cast Lead

ウィンター・ファミリー [フランス/イスラエル] → 鳥の劇場 [劇場]

『エルサレムと鉛のこま』

コンセプト・録音・演出・舞台美術:ウィンター・ファミリー 音響・映像:グザヴィエ・クライン
出演:ルース・ローゼンタール
9月28日(土)19:30・29日(日)17:30
※9月28日(土)終演後にアフタートークを行います
料金:大人2,500円/中学生500円

ドキュメンタリー演劇の手法を使ったこの作品では、実際にエルサレムで録音・録画された音と映像の中を、一人の女優が観客を導くように進みます。観客はやがて、そこに幻覚のように現れるイスラエル社会の姿を目撃することとなります。
※原題(英語)の「Cast Lead」(鋳造された鉛)は、ユダヤの祭日ハスカで子どもたちが遊ぶドレイドルというこまを指す。2008年にイスラエルがガザ地区を攻撃した際の作戦名でもある。
共同製作:ESPAL du Mans
助成:フランス大使館/アンスティチュ・フランス日本

上演『Finding Butterfly—私の家を探して』を通して考える、社会変革のための芸術

講師:ステファン・ティラー(演出家) → 鳥の劇場 [ホワイエ]
9月23日(月・祝)18:30頃〜 料金:無料

コミュニティの分断、経済の低迷、失業や社会的な不公平感といった社会的課題に対して、私たちは芸術活動を通してどのように関わる事ができるのか。演出家のステファン・ティラーさんは、そのような問題意識に基づくワークショップや取り組みをイギリスで実践しています。その考え方を、今回の演出作品を通して語っていただきます。
A lecture by Stephen Tiller on *Finding Butterfly* and "Art for Social Change"



The Sound of Light(Hikari no Oto) - A film by YAMASAKI Juichiro

映画上映『ひかりのおと』

脚本・監督:山崎樹一郎 出演:藤久善友 森衣里 真砂豪
9月16日(月・祝)10:30 → 鳥の劇場 [劇場]
料金:大人1,000円/中学生500円・上映時間:89分

岡山県真庭市で農業を続けながら映画を製作する山崎樹一郎監督の初長編作品。岡山県を舞台に、酪農家の青年が迷いを抱えながらも生きていく姿を描いた作品です。

The Sound of Light(Hikari no Oto) - A film by YAMASAKI Juichiro

鷲峯神社でてくてく詣で

→ 鹿野町・小幡河地区
9月23日(月・祝)14:30頃
28日(土)14:30頃
料金:無料/集合場所:旧小幡河小学校
協力:田中正人 小幡河地区公民館
今回初めて上演を行う鹿野町・小幡河地区の自然や歴史を味わっていたきたいと考え、『天使バビロンに来たる』終演後にガイドツアーを行います。石工「川六」さんの狛犬で知られる鷲峯神社などを訪ねます。

